

# 令和2年度 環境保全報告書

株式会社 ロック・フィールド 神戸ファクトリー

## 目 次

### ①当該年度の重点取り組み目標・計画の実施状況

- 省エネルギーの推進
- 廃棄物の削減
- 資源の使用の抑制

### ②各種対策に係る計画

#### 1) 公害防止対策に関わる報告

目標達成状況と達成のために講じた措置

調査結果

- ばい煙測定値
- 排水

#### 2) 地球温暖化対策

- 1 電気・燃料等の使用予定量および使用実績
- 2 二酸化炭素排出削減目標に対する達成状況

#### 3) 公害防止対策地球温暖化対策以外の環境保全活動にかかわる目標、計画と実施状況

# 令和2年度 環境保全報告書

株式会社 ロック・フィールド 神戸ファクトリー

## ①当該年度の重点取り組み目標・計画の実施状況

### ●省エネルギーの推進

＜目標＞ 電気使用量を、年間7,638.9千kwh以下に抑制する

	単位	2020年度
		5～4月
電気使用目標	千kwh	7,638.0
電気使用実績	千kwh	7,553.5
目標対比	(%)	98.9%

コロナ禍の影響を受け生産量の変動が多いものの、稼働率を考慮しながら環境負荷低減が行えた。  
外調機の再設定を行うとともに、工程の見直しや生産集約による稼働時間の短縮などの工夫の積み上げ結果となる。

### ●廃棄物の削減

＜目標＞ 廃棄物(動植物性残渣・廃プラスチック)の廃棄発生を年間631.1t 以下に抑制する

	単位	2020年度
		5～4月
廃棄物(残渣・廃プラ)総量目標	t	631.1
廃棄物(残渣・廃プラ)総量実績	t	565.9
目標対比	(%)	89.7%

小集団活動を中心に歩留まり管理などロス削減の取り組みを行い、動植物性残渣・廃プラスチック削減を実施。  
ていねいなモノづくりを実践することで、もったいない活動に繋がり、日々の処分量が減る傾向にある。  
一方で、コロナ禍の影響もあり、ライフスタイルが大きく変わり、惣菜製造メーカーでの廃棄する種類・量も増加基調。

### ●資源の使用の抑制

＜目標＞ 水の使用を年間110.1 千t 以下に抑制する

	単位	2020年度
		5～4月
水 使用量目標	千t	110.1
水 使用量実績	千t	103.8
目標対比	(%)	94.3%

小集団活動で使用している機械の使い方、工程の見直しを検証し節水を推進。  
基本に立ち返り、清掃マニュアルの見直し・工夫により月次で抑制効果が表れる。

②各種対策に係る計画

1) 公害防止対策に関わる報告

目標達成状況と達成のために講じた措置

	目標達成状況	目標達成の為の措置
大気汚染防止対策 大気汚染防止法の排出基準に関する条例等を遵守する ばい煙発生施設からの排出規制を遵守する 規制を遵守する	測定の結果すべてのばい煙発生施設(ボイラー)の排出が規制値内に収まった (規制値および測定結果は下記参照)	ボイラーを0.65MPaで運転 ばい煙発生施設の巡回 月1回のメーカー点検
水質汚濁防止対策 法令の遵守  非PRTR系物質で構成する薬剤の選択	排水の自主基準値を設定。年間をとおして順調に推移  一部薬剤を残し、非PRTR系物質で構成される薬剤を選択  単位:kg 2019年 2.5 2020年 9.9 前年対比 398.6%	除外施設を適正に維持管理し、定期的に水質測定を実施  2020年度は、清掃方法の見直しもあり一部PRTR系洗剤の増加となる。 排水使用水・時間の短縮・洗浄効果で良好な結果を生む。
廃棄物対策 法令の規制遵守と適正処理 発生量の抑制と再利用の	法令および適正処理に関して遵守できた 単位:kg 2019年 745,023 2020年 646,058 前年対比 86.7%	法令の規制を定期的に確認し遵守につとめる 歩留まり管理 原材料の効率的な活用

※排水にかかわる自主規制値

項目	自主規制値	
PH	5～8	神戸市下水道条例による数値を上回る水質
BOD	180以下	水質使用料徴収の非該当値内
SS	180以下	水質使用料徴収の非該当値内
ノルマルヘキサン	5以下	水質使用料徴収の非該当値内

調査結果

●ばい煙測定値

測定年月日		R2年1月測定	
1月測定値		ダスト濃度	窒素化合物濃度
規制値(猶予中)		0.1g/m <sup>3</sup> 以下	150volppm以下
測定値	ボイラーNO1	0.0019mg/m <sup>3</sup> N未満	25ppm
	ボイラーNO2	0.0019mg/m <sup>3</sup> N未満	23ppm
	ボイラーNO3	0.0019mg/m <sup>3</sup> N未満	24ppm

ボイラー設置届(西宮労働基準監督署)検定番号 No.小 Z 201106

東灘消防署への設置届:蒸気ボイラー-SQ-2000AS×1台

ばい煙発生装置設置届出(神戸市環境局):第4A2016号

●排水

		管理基準値	最大測定値	平均	測定回数	超過した回数	判定
(法令生活排水環境基準項目設定項目)	PH	5~8	8.0	7.4	365	0	○
	BOD	180以下	110	60.0	50	0	○
	SS	180以下	180	79.1	50	0	○
	ノルマルヘキサン	5以下	4	1.2	50	0	○

2) 地球温暖化対策

1電気・燃料等の使用予定量および使用実績

区分	燃料・焼却物等の種類	R1年度使用量	R2年度目標	R2年度使用量	単位
燃料	都市ガス	866,000	775,200	776,300	Nm <sup>3</sup>
	その他(廃棄物等)				Kg
	電気事業者から供給された電気	7,970,000	7,638,900	7,553,500	kwh
	熱供給事業者から供給された熱				
	原油換算	3,568	2,865	2,844	KL
	生産量	6,770		5,063	t
	エネルギー使用量原単位			0.4500	

2 二酸化炭素排出削減目標に対する達成状況 単位:t-CO<sub>2</sub>

温室効果ガス	R2年度排出目標	※排出実績
二酸化炭素	電気	1,965
	ガス	900
	計	2,865

コロナ禍の影響もあり、減産による環境影響が減る

3) 公害防止対策地球温暖化対策以外の環境保全活動にかかわる目標、計画と実施状況

分野	項目	目標	実施状況
正事処理所等での廃棄物の適	コピー用紙の使用削減	小集団活動による見直し	小集団活動により裏紙使用、両面使用を推進
	作業のペーパーレス化	ペーパーレス化への移行	スキャナー活用 裏紙活用の推進 データ配信によるペーパーレス化
	適正処理	新規取引先を含めた処理場視察	視察計画に沿って中間処分場の視察を実施(3か所)
	分別	教育による徹底	継続して徹底
	再生製品の使用	再生製品の利用率向上	再生製品使用
従業員教育	教育の年間計画策定	計画された教育の実施	実施
	環境に関する外部教育・セミナー参加	3人/年	2人/年
	小集団活動による主体的な取組の推進	重点目標の達成	6項目中5項目で達成
環境管理システムの充実	ISO14001認証継続	活動の改善	改善活動を継続
	内部監査実施	年2回実施	令和2年は1回(コロナ影響)
社外のとりくみへの協力	スイツバイオマスの研究協力	継続した研究協力	令和2年3月末を持って研究終了